

2020年11月18日 沖底@県営境港市場

ズワイガニ漁が解禁してからこれまで境港市場だけ行くことができていなかったのですが、なんとかしても今日は境港に行きたいと前日から考えていました。

境港では、田後船1隻、境船3隻、網代船4隻の入港がありました。海が穏やかで皆さん荷下ろしを終えて直ぐに次の漁に向かっていたようでした。かろうじて1隻の船がまだ荷下ろしをしており、カニの測定をしながら、お話するタイミングをはかっていたのですが、荷下ろしが終わると直ぐに出港しそうだったので、走ってお話をしに行きました。



境港ではパレット売りのカニの測定から始めます。仕分けが終わるとシートがかぶせられるからです。銘柄がとても多く大変ですが、一枚でも多く測ります。



次に活魚水槽のズワイガニの測定です。今年は、5、10 立てあたりのやや大きめが多いように感じました。そのほか、いつもは沖底船の船が着岸する2号上屋にまき網運搬船が1隻帰って来ましたが、なかなか間近では見ることが出来ないのですが、運搬船とはいえ、沖底船よりもはるかに大きく圧倒されました。本日はワラサ、マルゴ主体でした。

